

社会科シラバス 高校2・3年

1. 学習の到達目標と評価の観点

	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(科目) 日本史探究	4 単位	第2・3 学年	・『日本史探究』実教出版（教科書） ・『新詳日本史』浜松書店（図説） ・『日本史基本問題精講』旺文社（問題集） ・『トライアル日本史』浜島書店（問題集）
学習の到達目標	資料の読み取りを通して真理を追究していこうとする姿勢や、得られた知識・技能を実社会に役立てようとする意欲を養う。〔Science〕		
	世界全体を俯瞰するグローバルな視点と地域の問題を掘り下げて把握するローカルな視点を併せ持つ柔軟な思考力を養い、それに関する自分の考えや価値観を発信できるとともに、社会の中で自身に求められている役割を認識する。〔Global〕		
	探究心を持ち、物事を論理的にとらえ、現在世界各地で起きている問題を歴史的な視点から読み解き、よりよい解決策を導き出す。また、その解決策を実行するために、他者の意見を尊重しながら協働できる人間になる。〔Liberal Arts〕		
評価の観点	授業に前向きに取り組み、「なぜこのような出来事が起きたのか」といった疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞		
	日本の歴史を学びながら、それぞれの出来事を比べたり、たがいのつながりや影響を探究し、自分の考えを発信することができる。項目をただ暗記するのではなく、「原因→経過→結果」という因果関係をつかむことで、社会を動かす躍動感を体感する力をつける。＜思考力・判断力・表現力＞		
	諸課題の形成過程について考察したり、資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞		

※詳細は4から5ページを参照のこと。

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの
 B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
 C：「努力を要する」状況と判断されるもの
 D：未提出，未実施

2. 学習内容及び評価方法

時期	単元	学習のねらい・到達目標
第2学年 1学期 中間 まで	第1部 原始古代の日本と東アジア 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 ヤマト政権の成立と古墳時代 第3章 律令国家の形成	・採集から生産中心へと変化し、農耕が社会をどのように変えたかを説明できる。 ・中国文献史料から日本列島内の倭国の動き(国内外)を読み取ることができる。 ・古墳時代から飛鳥・白鳳期にかけてのヤマト政権における変化を説明できる。 ・天武・持統朝以降の律令国家がどのように完成したのか説明できる。 ★スタディサプリ「ベーシックレベル日本史探究」 第1講 原始の日本列島 第2講 中央集権国家「日本」の成立 第3講 律令体制の展開と矛盾
第2学年 1学期 期末 まで	第4章 古代の国家・社会の変容 第2部 中世の日本と世界 第1章 荘園公領制の成立と院政	・聖武天皇を軸とした奈良時代の社会・政治の動向を説明することができる。 ・桓武朝から嵯峨朝において進められた律令体制の変質について説明できる。 ・平安時代中期における地方支配の変化と武士の台頭について説明できる。 ・摂関政治から平氏政権における中央政治の展開について説明できる。 ★スタディサプリ「ベーシックレベル日本史探究」 第4講 律令体制の衰退 第5講 荘園公領制と武士 第6講 院政と平氏政権
第2学年 2学期 中間 まで	第2章 中世の国家・社会の展開 第3章 中世の国家・社会の変容	・鎌倉幕府成立から衰退への社会変化と、武士社会の特質について説明できる。 ・鎌倉幕府との類比・対比から室町幕府を分析しその特色について説明できる。 ・守護領国制が確立しどのようにして守護大名が成長するのか説明できる。 ・日明貿易の発展と変遷から周辺諸国との外交関係について整理することができる。 ・民衆が台頭する一揆の時代であることの社会的背景について説明できる。 ★スタディサプリ「ベーシックレベル日本史探究」 第7講 武家政権の確立 第8講 全国的武家政権の確立と衰退 第9講 地方からの視点と日本の産業・文化の確立

第2学年 2学期 期末 まで	第3部 近世の日本と世界 第1章 東アジア世界の変容と天下統一 第2章 幕藩体制の成立と展開	・戦国期から織豊政権成立にかけて完成していく近世の構造を説明できる。 ・江戸幕府がどのように幕藩体制を固め安定した統制を実現したのか説明できる。 ・幕藩体制と鎖国体制の確立が安定した社会をもたらしたことを説明できる。 ・支配階級である武士が百姓をどのように統制し、産業発展を実現したか説明できる。 ・幕藩体制の動揺とそれに対応するための幕政改革の特色について説明できる。 ★スタディサプリ「ベーシックレベル日本史探究」 第10講 織豊政権による統一 第11講 幕藩体制の確立と武断政治 第12講 幕政の安定と文治政治 第13講 幕藩体制の動揺と改革
第2学年 3学期 期末 まで	第3章 近世の国家・社会の変容 第4部 近現代の地域・日本と世界 第1章 開国から倒幕へ 春休み	・「内憂外患」という視点から内政と外交が変化していくことを説明できる。 ・開国を契機に幕末の動乱が始まり、徳川の支配が混乱していくことを説明できる。 ・幕藩体制が内乱と廃藩によって終焉を遂げていく、その経過について説明できる。 ★スタディサプリ「ベーシックレベル日本史探究」 第14講 幕藩体制の崩壊 第15講 開国と江戸幕府の滅亡
第3学年 1学期 中間 まで	第2章 明治維新 第3章 近代国家の形成	・明治新政府の近代化政策について何をめざしたのか具体的に説明できる。 ・殖産興業や文明開化などから日本人の西洋化が進んでいくことを説明できる。 ・近代国民国家を進めていくために始まっていく思想や文化について説明できる。 ★スタディサプリ「ベーシックレベル日本史探究」 第16講 明治維新と立憲国家の成立 第17講 「脱亜入欧」の達成と帝国主義
第3学年 1学期 期末 まで	第3章 近代国家の形成 第4章 両大戦間の日本	・第一次世界大戦の前後で、日本社会はどう変化したし、人々にどのような影響を与えたのか説明できる。 ・日本がなぜ十五年戦争に向かうことになったのか、国内政治・経済・外交情勢をもとに説明することができる。 ★スタディサプリ「ベーシックレベル日本史探究」 第17講 「脱亜入欧」の達成と帝国主義 第18講 近代産業と近代文化の発展 第19講 戦争への道と敗戦

第3学年 2学期 中間 まで	第5章 十五年戦争と日本 第6章 戦後日本の形成	・日本がなぜ十五年戦争に向かうことになったのか、国内政治・経済・外交情勢をもとに説明することができる。 ・GHQが日本に求めた政策から、国際社会における日本について説明できる。 ★スタディサプリ「ベーシックレベル日本史探究」 第19講 戦争への道と敗戦 第20講 終戦後の日本 第21講 国際社会への復帰と高度成長
第3学年 2学期 期末 まで	第6章 戦後日本の形成 第7章 グローバル化のなかの現代日本	・冷戦はアジアにどのような影響を及ぼしたのか説明できる。 ・21世紀の世界や日本の政治・経済は、これまでとどこが大きく異なっているか考察できる。 ★スタディサプリ「ベーシックレベル日本史探究」 第22講 経済大国としての安定成長 第23講 現代の日本

評価の観点及び内容	評価方法（具体例）
教員の発問に対し、積極的に取り組んでいる。周りのクラスメイトと主体的に意見の交換をする様子がみられる。＜主体性・多様性・協働性＞	loilo課題（提出）やワークシート、一問一答ワーク
設定された課題に対する自分の考えを、他者にも読み取れるように適切に説明することができる。＜思考力・判断力・表現力＞	定期考査・loilo課題（内容） 夏休みレポート課題
歴史的な知識を身につけられている＜知識・技能＞	定期考査・loilo課題（内容）・一問一答ワーク

【長期にわたる欠席が続いてしまった生徒への対応】

- ①Google Classroomやメール、ロイロを通じての連絡や授業でおこなった課題、プリントの添付。
- ②スタサプ「日本史探究」を該当する単元を見る。教科書も併せて確認してもらう。

【成績評価の概要について】

(1)学期における評価の対象

- ①各学期に実施する定期考査（80%）
→概ね8割の配分で評価素材とする。
- ②授業冒頭に取り組むロイロ課題（ロイロゲーム機能のテスト）
- ③単元の確認のために取り組む論述ワーク（ロイロ提出箱に提出）
→平常点（授業内取り組み、提出物等）として概ね2割前後を評価材料とする。
- ④夏休みレポート課題（大学入試における総合問題形式を意識した内容）
→提出があれば基礎点の25点は加点する。提出期限は2学期最初であるが、年度末までに提出があれば、最低限の加点を反映させる。

★定期考査未受験の場合、試験実施後に、ロイロから該当生徒に対して試験問題を送り、期日までの提出があれば、参考素材として素点化(ただし欠席得にならないよう考慮する)し成績に反映させる。提出がない場合は、定期考査は0点となり、②③のみの要素で評定算出が可能な場合は学期評定をつけるが、算出が難しい場合は、学期評定は空欄となる場合がある。ただし、公欠による試験欠席の場合はこの限りではない。欠席による未受験の考査提出は、年度末まで設けるので、当該学期での提出ができなかった場合でも、年度末までに提出ができれば学年評定には反映される。

※定期考査で30点未満をとった場合

希望する生徒に対して「欠席者用課題」を渡すので提出があれば評定算出の際、30点として扱う。

※考査の素点のみの「結果評価」だけではなく、授業への出席及び取り組みを中心とした「形成的評価」も重視するので、しっかり出席して取り組むようにすること。出停・忌引による欠席は出席扱いとする。

(2)学期評定の算出方法

学期ごとに、上記(1)を総合して評価を行う。

一部、論述課題などについては、〔①文章展開／②条件設定／③文字表現／④表現力〕などの観点を設け、ループリック評価をしたものを点数化する。授業時間内の提出を基本とし、授業後の提出に関しては基礎点のみの加点とする。

(3)学年評定の算出方法

- ①定期考査(年間5回)
- ②ロイロによるゲーム機能テストへの参加
- ③授業単元確認のための論述課題
- ④夏休みレポート課題

【日本史の学習法】 主体的に自分で教科書を読み、読解力を身につけていく

1. 大きくつかんで、細かく覚える。まず、流れをつかもう。
2. 「考えながら覚え」、「覚えながら考える」
3. 議論しながら考え、主体的に学んでいく。受け身にならないこと。
4. 因果関係を無視せず、当事者意識を持って考えていく。
5. スタディサプリの日本史動画を有効に活用し、何度も視聴することで知識の定着の一助としていくこと。

**以下に、高校2年生3学期定期考査までの論述課題と到達目標項目を提示する。
(高校3年次については、2027年度シラバスで提示)**

【1学期中間考査に向けての論述課題】

◎200字程度の論述を1題出題する予定→「予告問題」1題

◆予告問題(論述)

どちらかをそのまま出題する予定なので、各自でまたは友人同士で格闘しながら、取り組んでおこう。

- 【1】古墳時代の前期・中期・後期の特徴とそれぞれの社会のあり方について、具体的に述べなさい。(200字程度)。
- 【2】日本古代には都の場所がたびたび変わった。7世紀半ばから8世紀半ばにおける都の変遷について、政治・社会情勢と関連させつつ述べなさい。(200字程度)。

【到達目標チェック】 □にレ点を入れていこう！

- 採集から生産中心へと変化し、農耕が社会をどのように変えたかを説明できる。
- 中国文献史料から日本列島内の倭国の動き(国内外)を読み取ることができる。
- 古墳時代から飛鳥・白鳳期にかけてのヤマト政権における変化を説明できる。
- 天武・持統朝以降の律令国家がどのように完成したのか説明できる。
- 聖武天皇を軸とした奈良時代の社会・政治の動向を説明することができる。
- 学習した範囲のスタディサブリ動画を視聴して内容を理解できる。

【1 学期期末考査に向けての論述課題】

◎200 字程度の論述を 1 題出題する予定→以下の「予告問題」から 1 題

◆予告問題(論述)

どちらかをそのまま出題する予定なので、各自でまたは友人同士で格闘しながら、取り組んでおこう。

- 【1】 10 世紀になると、民衆支配や地方行政のあり方が、律令体制の原則から大きく変化した。「延喜の荘園整理令」「田堵」「国司」の語を用いながら、変化の様相について述べたなさい。(200 字程度)。
- 【2】 古代において日本は中国とさまざまな関係をもった。9・10 世紀における日中間の交流について、具体的に述べなさい。(200 字程度)。

【到達目標チェック】 □にレ点を入れていこう！

- 桓武朝から嵯峨朝において進められた律令体制の変質について説明できる。
- 平安時代中期における地方支配の変化と武士の台頭について説明できる。
- 弘仁貞観期から国風期における文化の特質について説明できる。
- 摂関政治から平氏政権における中央政治の展開について説明できる。
- 鎌倉幕府成立から衰退への社会変化と、武士社会の特質について説明できる。
- 系図や文献史料などの読み取りについてじっくり学習し理解することができる。
- 学習した範囲のスタディサブリ動画を視聴して内容を理解できる。

【2 学期中間考査に向けての論述課題】

◎200 字程度の論述を 1 題出題する予定→以下の「予告問題」から 1 題

◆予告問題(論述)

どちらかをそのまま出題する予定なので、各自でまたは友人同士で格闘しながら、取り組んでおこう。

- 【1】 室町時代には商業や交通がたいへん盛んとなり、それにとまって貨幣の流通がすすんだ。この時代における金融業や貨幣経済の発展と、それに対する幕府の政策について具体的に述べなさい。(200 字程度)。
- 【2】 鎌倉時代後期から室町・戦国時代にかけて、地域社会では村落結合が成長・発展していった。その自治組織の名称、及びその構成・運営・機能について具体的に述べなさい。(200 字程度)。

【到達目標チェック】

- 鎌倉幕府との類比・対比から室町幕府を分析しその特色について説明できる。
- 守護領国制が確立しどのようにして守護大名が成長するのか説明できる。
- 日明貿易の発展と変遷から周辺諸国との外交関係について整理することができる。
- 民衆が台頭する一揆の時代であることの社会的背景について説明できる。
- 戦国期から織豊政権成立にかけて完成していく近世の構造を説明できる。
- 室町期から桃山時代の文化について、変化していくその特色について説明できる。
- 学習した範囲のスタディサブリ動画を視聴して内容を理解できる。

【2学期期末考査に向けての論述課題】

◎200 字程度の論述を 1 題出題する予定→以下の「予告問題」から 1 題

◆予告問題(論述)

どちらかをそのまま出題する予定なので、各自でまたは友人同士で格闘しながら、取り組んでおこう。

- 【1】慶安 4(1651)年、幕府は末期養子の禁を緩めた、末期養子の禁の内容と、この緩和措置がなされた政治的・社会的背景について、具体的に述べなさい。(200 字程度)。
- 【2】江戸時代、幕政改革の主要な課題は財政危機の克服であった。享保改革期から田沼政権期にかけ、幕府がとった財政危機打開策のうち、収入増加政策について述べなさい。(200 字程度)。

【到達目標チェック】

- ☐江戸幕府がどのように幕藩体制を固め安定した統制を実現したのか説明できる。
- ☐幕藩体制と鎖国体制の確立が安定した社会をもたらしたことを説明できる。
- ☐支配階級である武士が百姓をどのように統制し、産業発展を実現したか説明できる。
- ☐幕藩体制の動揺とそれに対応するための幕政改革の特色について説明できる。
- ☐農業だけでなく諸産業が発展していく様子と、交通の整備について説明できる。
- ☐江戸時代の文化について、儒学などの学問を重視したことから説明できる。
- ☐学習した範囲のスタディサプリ動画を視聴して内容を理解できる。

【3学期期末考査に向けての論述課題】

◎200 字程度の論述を 1 題出題する予定→以下の「予告問題」から 1 題

◆予告問題(論述)

どちらかをそのまま出題する予定なので、各自でまたは友人同士で格闘しながら、取り組んでおこう。

- 【1】天保改革の背景の一つに、対外的危機があった。当時の幕府がいだいていた対外的危機意識の内容と、天保改革の中で打ち出された危機打開策の内容について、具体的に述べなさい。(200 字程度)。(200 字程度)。
- 【2】幕末の開港は、日本の政治・経済・社会・文化などに多大な影響をもたらした。そのうち、流通機構や物価に対する影響について、幕府の政策にもふれながら、具体的に述べなさい。(200 字程度)。

【到達目標チェック】

- ☐「内憂外患」いう視点から内政と外交が変化していくことを説明できる。
- ☐開国を契機に幕末の動乱が始まり、徳川の支配が混乱していくことを説明できる。
- ☐明治新政府の近代化政策について何をめざしたのか具体的に説明できる。
- ☐幕藩体制が内乱と廃藩によって終焉を遂げていく、その経過について説明できる。
- ☐殖産興業や文明開化などから日本人の西洋化が進んでいくことを説明できる。
- ☐近代国民国家を進めていくために始まっていく思想や文化について説明できる。
- ☐学習した範囲のスタディサプリ動画を視聴して内容を理解できる。